

二七一一番

奥山おくやまの 木この葉は隠かくりて 行くゆく水みづの 音おと聞ききしより  
常つね忘わすれえず

二七一二番

言こと速とくは 中なかは淀よどませ 水み無なし川がは 絶たゆといふこ  
とを ありこすなゆめ

二七一三番

明あ日す香か川がは 行ゆくく瀬せを速はやみ 早はやけむと 待まつらむ妹いも  
を この日ひ暮くらしつ

二七一四番

ものもののふの 八や十そ字う治ち川かはの 速はやき瀬せに 立たち得えぬ  
恋こひも 我あれはするかも